

令和元年度大垣市地域公共交通会議第4回会議次第

と き 令和2年2月25日（火） 15:30～17:00

ところ 岐阜協立大学 2号館3階 第8会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 令和元年度大垣市地域公共交通会議

第3回会議について…………… P. 1 **資料No. 1**、**別添資料No. 1**

(2) 大垣市地域公共交通網形成計画（素案）

について…………… P. 3 **資料No. 2**、**別添資料No. 2**

(3) 今後の日程について…………… P. 7 **資料No. 3**

4 そ の 他

5 閉 会

令和元年度大垣市地域公共交通会議第4回会議出席者名簿

と き 令和2年2月25日（火）15:30～17:00

ところ 岐阜協立大学 2号館3階 第8会議室

| No. | 区分 | 団体名・役職等 | 氏名 | 備考 |
|-----|--------------------------|--|-------------------|----|
| 1 | 会 長 | 大垣市長 | 小 川 敏 | |
| 2 | 学 識 経 験 者 | 岐阜協立大学学長 | 竹 内 治 彦 | |
| 3 | 道 路 管 理 者 | 国土交通省大垣維持出張所長 | 蒲 雅 志 | |
| 4 | | 岐阜県大垣土木事務所施設管理課長 (道路管理係長) | 金 森 隆 史 (井上裕詞) | 代理 |
| 5 | 警 察 署 | 大垣警察署交通第一課長 (交通第一課係長) | 長谷川 誠 (後藤 努) | 代理 |
| 6 | | 養老警察署交通課長 | 大 熊 秀 則 | |
| 7 | | 垂井警察署交通課長 | 船 越 修 爾 | |
| 8 | 交 通 事 業 者 (バ ス) | (公社)岐阜県バス協会専務理事 (事務局長) | 林 直 樹 (上嶋英樹) | 代理 |
| 9 | | 名阪近鉄バス㈱取締役社長 (乗合バス営業部長) | 松 田 健 (山田規光久) | 代理 |
| 10 | 交 通 事 業 者 (鉄 道) | 東海旅客鉄道㈱東海鉄道事業本部管理 部総務課課長代理(大垣駅首席助役) | 豊 田 智 隆 (本田幸司) | 代理 |
| 11 | | 樽見鉄道㈱代表取締役社長 | 不 破 道 夫 | |
| 12 | | 養老鉄道㈱代表取締役常務 鉄道営業 部長 | 植 松 知 也 | |
| 13 | 交 通 事 業 者 (タ ク シ ー) | スイトトラベル㈱タクシー事業部長 | 石 田 吉 忠 | |
| 14 | | 岐阜近鉄タクシー㈱取締役社長 | 川 内 康 平 | |
| 15 | | 大垣タクシー㈱代表取締役 | 大 角 勇 雄 | |
| 16 | | 中部交通㈱代表取締役 | 藤 墳 寛 富 | |
| 17 | 地 域 公 共 交 通 の 利 用 者 | 大垣市連合自治会連絡協議会副会長 | 後 藤 文 夫 | 欠席 |
| 18 | | かがやきクラブ大垣会長 | 西 田 勝 嘉 | |
| 19 | | 大垣市女性連合会会長 | 竹 中 昌 子 | |
| 20 | | 大垣桜高等学校校長 | 猿 井 久 美 子 | 欠席 |
| 21 | | 大垣商工会議所会頭 | 田 口 義 隆 | 欠席 |

| No. | 区分 | 団体名・役職等 | 氏名 | 備考 |
|-----|---------------------------|---------------------------------------|---------------------|---------------|
| 22 | その他会長 が必要と 認めるもの | 大垣観光協会会長 (理事) | 田中良幸 (箕浦之治) | 代理 |
| 23 | | 大垣市交通安全女性連絡協議会会長 | 後藤容子 | |
| 24 | | 大垣市社会福祉協議会地域福祉課長 | 山田孝 | |
| 25 | | 中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画 専門官 | 鈴木隆史 | |
| 26 | | 岐阜県都市建築部都市公園整備局公共 交通課長兼リニア推進室長(主事) | 幸畑哲也 (長谷部美穂) | 代理 |
| 27 | | (自主運行 バス関係) | 養老町長 (産業建設部建設課長) | 大橋孝 (高橋正人) |
| 28 | 関ヶ原町長 (企画政策課企画係長) | | 西脇康世 (児玉裕一) | 代理 |
| 29 | オブザーバー (地域間幹線 系統関係) | 羽島市市民部生活交通安全課係長 | 木山鉄兵 | |
| 30 | | 瑞穂市企画部総合政策課主査 | 武藤崇晃 | 欠席 |
| 31 | | 海津市市民活動推進課係長 | 小野澤孝則 | |
| 32 | | 神戸町まちづくり戦略課長 | 石原宏一 | |
| 33 | | 輪之内町住民課長 | 野村みどり | |
| 34 | | 安八町住民環境課課長補佐 | 久保田一也 | |
| 35 | | 大野町総務部政策財政課長 | 内藤睦文 | |

令和元年度 大垣市地域公共交通会議 第4回会議 席次表

と き 令和2年2月25日（火）15:30～
 ところ 岐阜協立大学 2号館3階 第8会議室

事務局（生活安全課、都市計画課、コンサル）（机4本）

| 長谷部 穂 | 主事 | 岐阜県公共交通課 | 鈴木 隆史 | 首席運輸企画専門官 | 中部運輸局岐阜運輸支局 | 大垣市長 小川 敏 | 竹内 治彦 | 学長 岐阜協立大学 | 上嶋 英樹 | 事務局長 （公社）岐阜県バス協会 | 出入口 | |
|-----------------------------------|-------|----------------------|-------|-----------|-------------|--------------|-------|--------------|-------|---------------------|------------------------------------|--|
| 国土交通省 大垣維持出張所長 蒲 雅 志 | | | | | | | | | | | 名阪近鉄バス(株) 乗合バス営業部長 山 田 規 光 久 | |
| 大垣土木事務所 施設管理課道路管理係長 井 上 裕 詞 | | | | | | | | | | | 東海旅客鉄道(株) 大垣駅首席助役 本 田 幸 司 | |
| 大垣警察署 交通第一課係長 後 藤 努 | | | | | | | | | | | 樽見鉄道(株) 代表取締役社長 不 破 道 夫 | |
| 養老警察署 交通課長 大 熊 秀 則 | | | | | | | | | | | 養老鉄道(株) 代表取締役常務 植 松 知 也 | |
| 垂井警察署 交通課長 船 越 修 爾 | | | | | | | | | | | スイトトラベル(株) タクシー事業部長 石 田 吉 忠 | |
| かがやきクラブ大垣 会長 西 田 勝 嘉 | | | | | | | | | | | 岐阜近鉄タクシー(株) 取締役社長 川 内 康 平 | |
| 大垣市女性連合会 会長 竹 中 昌 子 | | | | | | | | | | | 大垣タクシー(株) 代表取締役 大 角 勇 雄 | |
| 大垣観光協会 理事 箕 浦 之 治 | | | | | | | | | | | 中部交通(株) 代表取締役 藤 墳 寛 富 | |
| | 後藤 容子 | 大垣市交通安全女性 連絡協議会会長 | 山田 孝 | 地域福祉課長 | 大垣市社会福祉協議会 | | 児玉 裕一 | 企画政策課企画係長 | 関ヶ原町 | 高橋 正人 | 建設課長 養老町 | |

オブザーバー席（机・イス）（机4本、8席）

記者席、傍聴者席、随行者席（机・イス）（机4本、12席）

傍聴者席、随行者席（机・イス）（机4本、12席）

出入口

令和元年度大垣市地域公共交通会議第3回会議について

1 開催趣旨

現在、計画策定を進めている大垣市地域公共交通網形成計画策定事業については、国の地域公共交通確保維持改善事業補助金を活用して実施しています。

中部運輸局「第三者評価委員会」にて策定事業の進捗状況等についての確認や事業評価、助言等を受けるための資料提出にあたり、大垣市地域公共交通会議での協議が必要となりました。

本来であれば会議を開催して協議いただくところではありましたが、時間の関係等から書面での協議を実施いたしました。

2 開催日 令和2年1月20日（月）

3 協議結果

| 賛成 | 反対 | 合計 | 意見等 |
|----|----|----|---|
| 28 | 0 | 28 | ・高齢者の買い物、通院へのバス（福祉バス、ワンコインバス）の対策を検討してもらいたい。 |

4 第三者評価委員会

(1) と き 令和2年2月17日（月）

(2) と ころ 中部運輸局

(3) 趣 旨

中部運輸局が事業評価を行うにあたり、学識委員から、地域公共交通確保維持改善事業についての他、まちづくりや交通政策等について、各分野・立場から助言等いただく場として開催されています。

中部運輸局では、第三者評価委員会の開催結果や、中部運輸局での事業評価結果についてホームページ等で公開し、次年度以降の事業実施に反映できるようにします。

(4) 提出資料

別添資料No. 1のとおり

5 第三者評価委員会での助言等

今後、公開される事業評価結果等を確認し、必要に応じて計画内容の修正等を検討していきます。

大垣市地域公共交通網形成計画（素案）について

1 計画の趣旨

本市の公共交通は、人口減少や少子高齢化が進む中、高齢者等が安心して利用できる公共交通ネットワーク等の整備が課題となっています。

また、隣接市町からの広域的な移動を維持するとともに、上石津地域等の地域特性の異なる地域での移動や観光客等のニーズにも対応した検討が必要となっています。

交通事業者においては、人件費等のコスト増の他、運転手の確保が難しくなる等、経営環境は厳しさを増しています。

こうした中、地域住民等の大切な移動手段としてのローカル鉄道や多くのバス路線を本市の財政負担により維持しており、その負担額は増加傾向となっています。

これらのことから、今後の持続可能なまちづくりを進めるため、地域特性や、利便性、利用者負担、費用対効果等を総合的に検討した上で、本市における公共交通のあり方や対応方針等を定めた「大垣市地域公共交通網形成計画」を策定し、関係者が一体となって公共交通の維持・活性化に取り組みます。

2 計画の区域 大垣市全域

3 計画の期間 令和2年度～令和6年度（5年間）

4 地域公共交通の目指す将来像

持続可能なまちづくりや安心・安全な暮らしを支える公共交通体系づくり

5 基本方針

- (1) 立地適正化計画に基づいたコンパクトなまちづくりの骨格となる公共交通ネットワークを形成しつつ、隣接市町からの広域的な移動ニーズに対応したサービスの提供に取り組みます。
- (2) 通勤・通学者の大垣駅へ向かう移動サービスを維持しつつ、高齢者や親子等の買い物・通院、本市への来訪者等も含めた移動ニーズに対応したサービスを検討します。
- (3) 地域住民、外国人を含む来訪者等が気軽に安心して移動できるよう、ICT（情報通信技術）を活用した情報の提供や利用環境の整備に取り組みます。
- (4) 利用促進や運行効率化により経営の健全化を図るとともに担い手の確保を行い、公共交通の維持に取り組みます。

6 地域懇談会の開催結果

(1) 開催回数 6回（大垣地域 4回、上石津地域 1回、墨俣地域 1回）

(2) 開催内容

- ① 大垣市地域公共交通網形成計画（骨子）の説明
- ② 意見交換

(3) 参加人数 142人

(4) 主な意見等

| | |
|---|--|
| ① | バスの本数を増やしてほしい。 バスの本数が増えれば、自家用車を利用している人が乗るようになると思う。 |
| ② | バス停が遠いのでバスが利用できない。 バス停を増やしてほしい。 |
| ③ | バスの運賃が高い。 バスの運賃が安くなれば、利用が増えると思う |
| ④ | バスは、昼間は利用者が少ないので、車両を小型化して運行経費を削減した方が 良いと思う。 |
| ⑤ | 細い道を通行できる小型車両で地域内巡回バスやデマンドバス等を運行してほし い。 |
| ⑥ | 市からの補助金があれば、地域住民主体での移動サービスを検討しやすくなると思 う。 |
| ⑦ | デイサービス等の送迎バスの空き車両を活用できると良いと思う。 |
| ⑧ | 地域の人に利用してもらうには、地域住民が自分たちで考えていかないといいな いと思う。 |
| ⑨ | バスが不便なので、免許返納ができない。 免許返納するとタクシーを利用するしかなく、経済的負担が大きい。 |
| ⑩ | 高齢者の移動は「福祉」の問題だと思う。 もっと高齢者対策や公共交通に予算を回すべきだと思う。 |
| ⑪ | 生活安全課単独ではなく、各課が連携して行う必要があると思う。 |

7 目標及び目標達成のための施策・事業

(1) 目 標

- ① 公共交通等の整備
- ② 公共交通の利便性の向上
- ③ 公共交通の新たな利用者の確保
- ④ 公共交通の経営の健全化

(2) 目標達成のための施策・事業

| No. | 内容 |
|-----|--|
| ① | 公共交通の維持（養老線、樽見線、路線バス） |
| ② | 移動ニーズや地域特性等に対応したサービスの見直し （人口の増加している地区や利用意向の高い地区での路線バス充実、上石津地域での公共交通の再構築、市役所（新庁舎）へのアクセス向上 等） |
| ③ | 大垣市外出支援サービス事業 |
| ④ | 買い物支援事業 |
| ⑤ | 社会福祉法人、地域住民等が連携したサービス |
| ⑥ | 利用環境の改善（バリアフリー、バス停間距離の短縮 等） |
| ⑦ | 路線バスのバスロケーションシステム |
| ⑧ | 路線バスの経路検索システム |
| ⑨ | I C Tを活用した情報提供 |
| ⑩ | キャッシュレス化の推進（路線バスのI Cカード 等） |
| ⑪ | 利用者負担の軽減（免許返納割引、乗継割引 等） |
| ⑫ | ダイヤ調整（乗継利便性、パターンダイヤ 等） |
| ⑬ | 公共交通マップの作成 |
| ⑭ | 鉄道駅やバス停等での案内や名称等の改善 |
| ⑮ | 案内表示、車内アナウンス等の多言語化の推進 |
| ⑯ | 運転免許証自主返納支援事業の実施及び拡充 |
| ⑰ | 大垣市高齢者バス通院助成事業 |
| ⑱ | 障がい者の交通運賃割引 |
| ⑲ | 大垣市親子バス利用支援事業 |
| ⑳ | 大垣市多胎家庭お出かけアシストタクシー事業 |
| ㉑ | 企画乗車券の導入（1日乗車券、樽鉄シルバー会員証 等） |
| ㉒ | 年間通学定期券（養老鉄道、樽見鉄道、名阪近鉄バス） |
| ㉓ | 各種イベントや商業施設、観光施設等と連携した利用促進や普及啓発 （のりものフェア 等） |
| ㉔ | イベント等における情報の発信（臨時運行情報 等） |
| ㉕ | モビリティ・マネジメントの推進（地域懇談会、出前講座 等） |
| ㉖ | 交通事業者と連携した記念事業の実施 |
| ㉗ | 路線バスの回送車の有効活用等による増便や運賃収入の確保 |
| ㉘ | 旅行商品やグッズ等の販売による収入確保 |
| ㉙ | 運転手等の担い手確保 |
| ㉚ | 交通事業者や地域住民、関係機関等と連携した運行内容や利用促進についての検討 |

8 計画の達成状況の評価

計画の各事業を着実に実施するとともに、適切な進行管理を行うため、各事業の実施状況や評価指標の達成状況を定期的に把握し、必要に応じて事業内容の見直しや改善等を図るPDCAサイクルを実施します。

PDCAサイクルの実施については、関係者が連携し、大垣市地域公共交通会議にて行います。

| 評価指標 | | 現況値 (平成30年度) | 目標値 (令和6年度) |
|------|------------------------------------|-----------------|----------------|
| 指標1 | 公共交通の利用者数 | — | — |
| | ① 養老線の市内駅の乗降人数 | 12,822人/日 | 現状維持 |
| | ② 樽見線の市内駅の乗降人数 | 1,454人/日 | 現状維持 |
| | ③ 路線バスの年間輸送人員 | 1,785,971人/年 | 現状維持 |
| | ④ タクシーの年間輸送回数 | 617,978回/年 | 現状維持 |
| 指標2 | 乗継拠点である大垣駅での降車人数 | — | — |
| | ① 養老線大垣駅での降車人数 | 4,706人/日 | 現状維持 |
| | ② 樽見線大垣駅での降車人数 | 581人/日 | 現状維持 |
| | ③ バス停（大垣駅前＋大垣駅北口）での降車人数 | 1,966人/日 | 現状維持 |
| 指標3 | 自主運行バスの実車走行キロ当たりの輸送人員（輸送人員÷実車走行キロ） | 0.93 | 0.97 |

今後の日程について（案）

| とき | 内容 |
|------------------|---|
| 令和2年 2月25日（火） | 大垣市地域公共交通会議の開催（令和元年度第4回） ・令和元年度大垣市地域公共交通会議第3回会議について ・大垣市地域公共交通網形成計画（素案）について |
| 4月 | パブリック・コメントの実施 ・大垣市地域公共交通網形成計画（素案）について |
| 5月 | 大垣市地域公共交通会議の開催（令和2年度第1回） ・大垣市地域公共交通網形成計画（案）について |
| 7月～ | 大垣市地域公共交通網形成計画の作成・公表、国・県への提出 大垣市地域公共交通網形成計画に基づいた事業の実施、達成状況の評価 |